学校だより　第８号

稲浜通信

千葉市立稲浜中学校
千葉市美浜区稲毛海岸２-３-３
TEL　043-247-8500
令和５年３月２４日発行

今年度の終わりに

校長　神戸　重彦

３月２日に３年生を送る会を実施し、３年生に思い出に残る発表を届けることができたと思います。感謝と祝福の気持ちが十分に表れていたのではないでしょうか。３年生が感動の気持ちや励ましの気持ちを後輩たちへメッセージとして残してくれたことに感謝です。学校の顔として学業に課外活動に後輩たちの良き手本としての姿を示した３年生。その姿を目指し、先輩を超えようと努力する２年生と１年生。この流れが伝統ですね。

卒業式は暖かな日差しの中、凛々しく堂々とした卒業生の姿に心から感謝と祝福を送ることができたと思います。１年生は教室からのリモート参加でしたが、心を込めて送別の歌を届けてくれました。２年生も思いを込めて歌い、送ってくれたと感じます。

今年度は新型コロナウイルス感染症の制約が徐々に解け、行事も延期なく実施することができました。できることが増え、明るい兆しも見えています。しかし、失われたものは取り戻すことはできず、経験できなかったことも多く、残念でなりません。

前向きにとらえると、コロナ禍だからこそ経験できたこともあったと考えられます。他を気遣うこと、協力すること、耐えること等。特に思いやりの気持ちや他を尊重する気持ちはコロナ禍だからこそ考えさせられたことではないでしょうか。

学校におけるマスク着用が各個人の判断に任せられるのが４月からです。着ける人、着けない人が混在すると思います。それぞれの考えや思いを尊重し、よりよい生活ができるようにしましょう。どちらも正解ですから。

みなさん、今年度の成長を実感できていますか？できるようになったこと増えましたか？先輩になる皆さん、学校の顔となる皆さん、どんな自分になりたいですか？
大きな節目を迎える４月を気持ち新たに清々しく迎えましょう。

１年間を振り返って

教頭　伊藤祐美

驚異の感染力を持った新型コロナウイルスの感染が日本で発見されたのは２０２０年１月のことでした。テレビでみるダイヤモンド・プリンセス号の映像が目に焼き付いており、今でも鮮明に思い出します。コロナに感染すると重症化する、治療薬もないという中でかなりの恐怖を覚えました。当時、街で見かける人影もまばらで、食料の買い出しでさえ怯え、最小限の時間で済ませていたものです。あれから３年、やっと規制緩和が始まりました。学校にも徐々に活気が戻ってきています。

この１年を振り返ると、ウィズコロナということで工夫して学校行事を行うことができました。特に、１・２年生の時に様々な行事が中止・縮小となった卒業生にとっては、最高の１年になったと思います。初めてのことばかりなのに中学校最後の行事というものがほとんどでした。そのような状況にありながら、卒業生の皆さんは後輩をリードし、稲浜中の良き伝統を受け継ぎ、伝授したと思います。本当に心の底から感動しました。

３年生が卒業してからの朝、誰もいない３年昇降口の横を通るのをとても寂しく感じていました。しかし、現在の１・２年生は卒業生の意思を継ぎ、これからの活動に向かって元気に突き進み始めています澄んだ瞳は生き生きとし、毎日活気にあふれています。それぞれが上級生になる準備もできているように思えます。それをみると寂しさは吹き飛び、４月からの皆さんの活躍がとても楽しみになってきました。

人生において、中学校の思い出は最高のものです。これからもたくさんのことに積極的に挑戦していきましょう。今年度も、１年間ありがとうございました。

４月の主な予定

※3 月 24 日現在　変更される場合もあります

6 日（木）　着任式　前期始業式
7 日（金）　第 42 回入学式
10 日（月）　給食開始・対面式
12 日（水）　発育測定・個人写真撮影
14 日（金）　防災訓練
18 日（火）　市教研・仮時間割開始
19 日（水）　全国学力状況調査（3 年）
22 日（土）　AM:通常授業
PM:学年・学級懇談会
保護者と教員の会総会
24 日（月）　振替休業
25 日（火）　正式日課開始